

報告書

株主・投資家の皆様へ

2023年3月期中間

応える、超える。

WDB

CONTENTS

■ 企業理念	1
■ 株主の皆様へ	2
■ 事業領域	3
■ 事業概要	4
■ 中期経営計画	5
■ 連結財務諸表	6
■ 財務ハイライト	7
■ 会社の概況	9
■ 株式状況	10

WDBホールディングス株式会社

企業理念

埋もれた価値を発掘し、 新たな価値を創造していく会社でありたい。

私たちWDBグループは、埋もれている価値を見出し、そこに光を当てて新たな価値を付加できる会社だと自負しています。

私たちの考える「埋もれた価値の発掘」とは、今は成果が出ていなくても将来的に伸びる可能性のある会社や事業、人材を見つけ出すことです。

また、「新たな価値の創造」とは、プラットフォームを通して仕事をする仕組みをすることで、利便性や生産性を高め、その事業が本来持っている価値を最大限に発揮できるようにすることです。

WDBグループは、主力事業である人材サービスにおいて、いち早く理学系研究職の分野へ進出し、新たな市場を切り拓いてきました。また、CROサービスにおいては、業務プロセスを分解し標準化することで改善し、生産性を高めるという手法で、業界のあり方に一石を投じています。

これからも、埋もれた価値の発掘と新たな価値の創造を絶えず行うことで、私たちの企業価値を向上させていきます。

応える、超える。

The logo for WDB, consisting of the letters "WDB" in white, bold, sans-serif font, centered within a blue triangle that points to the right.

新たな事業展開への挑戦

プラットフォームを通じたサービスを提供し、唯一無二の会社を目指します

株主の皆様におかれましては、平素より格別のご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。2023年3月期中間報告書をお届けするにあたり、ご挨拶申し上げます。

2023年3月期 中間連結業績 (2022年4月1日から2022年9月30日まで)

売上高は前年同期比2.1%増加の23,712百万円、経常利益は前年同期比12.5%減少の2,891百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は、前年同期比16.8%減少の1,697百万円となりました。

2022年5月に公表いたしました、2023年3月期中間業績計画である、売上高23,216百万円に対しては、達成率102.1%、経常利益2,789百万円に対しては、達成率103.7%、親会社株主に帰属する四半期純利益1,750百万円に対しては、達成率96.9%という結果になりました。

2023年3月期 上半期の状況

当期間における日本経済は、引き続き新型コロナウイルス感染症流行の影響を受けましたが、ワクチンおよび感染防止対策の普及により、当社事業への影響は軽微に留まりました。

人材事業につきましては、営業活動および求職者の募集活動を積極的に行った結果、新規派遣依頼数および受注数については、前年同期を上回りました。WDB株式会社においては、2022年7月に派遣社員の報酬改定を行い、新規の派遣依頼についても、改定した報酬に基づいて求人募集活動を行っております。あわせて、派遣社員以外の

当社グループ従業員については、4月より報酬のベースアップを実施し、優秀な人材の確保に努めました。また、派遣サービスプラットフォーム「ドコニコ」の改良および顧客・派遣社員への浸透活動をより一層進めるとともに、ドコニコによる業務効率化の効果を最大限に発揮できるよう、営業組織の再編にも着手いたしました。

CRO事業についても、サービスのプラットフォーム化を目指し、開発を進めました。

下半期の見通しおよび取り組み

2022年5月13日に発表した中長期経営計画に基づき、引き続きプラットフォームの開発・改良を続けながら、派遣社員の報酬改定の効果を最大限に発揮できるような取り組みを行い、今期の業績目標の達成と、来期以降の成長基盤を築けるように、事業を行ってまいります。

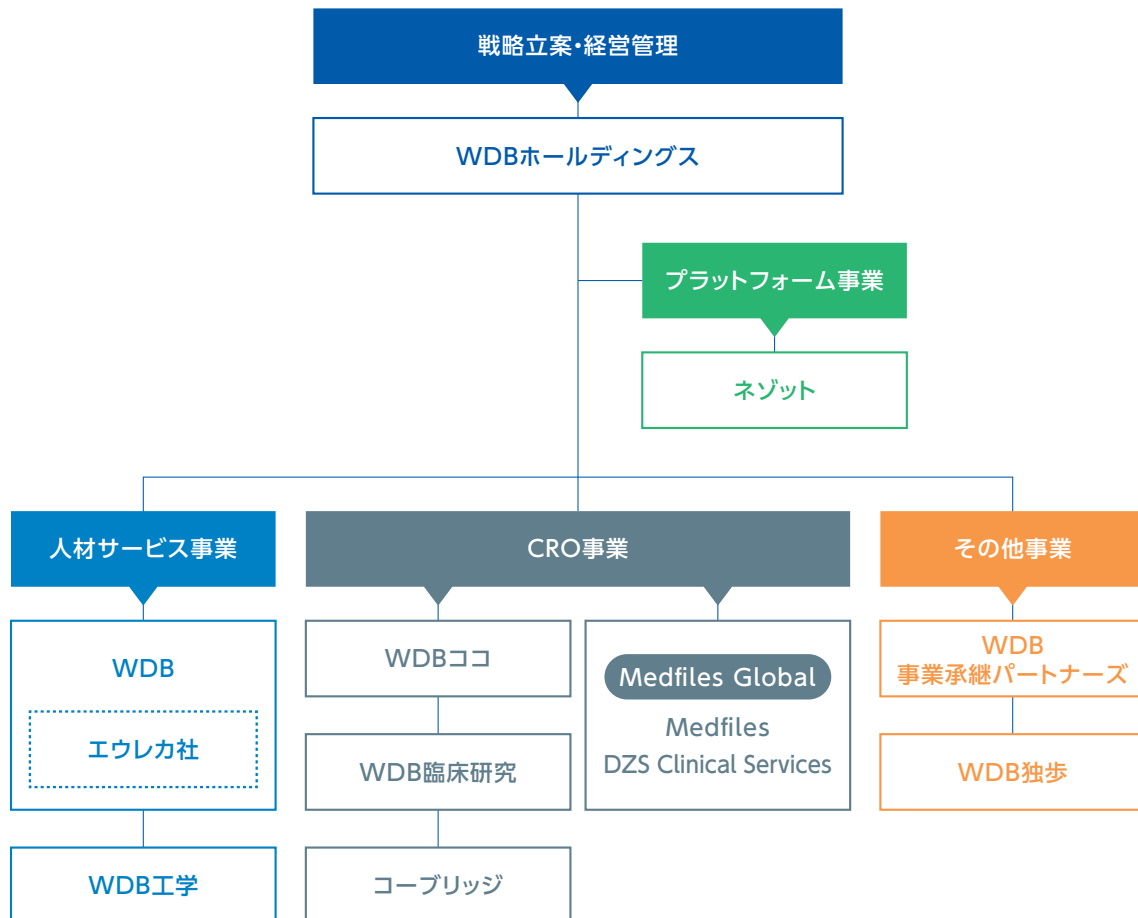
引き続き、当社グループへの一層のご支援、ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

WDBグループ代表
中野 敏光



事業領域の拡充に取り組みながら、企業価値を向上させていきます。

WDBグループはプラットフォーム事業、人材サービス事業、CRO事業を柱に事業を展開しています。基盤となる事業から、さらに事業領域の拡充に取り組み、業界の既成概念にとらわれない新しいスタンダードを創っていきます。





▶ プラットフォーム事業

プラットフォームによって、新たなビジネスモデルを創り出す

スマートフォンの登場以降、誰もがインターネットを利用して、あらゆるモノ・情報・サービスを、人の手を介することなく獲得できる時代になりました。ユーザーの求めるものをより正確に、より便利な形で提供する新しいサービスが次々と生まれています。ネット上で構築したプラットフォームによって、人材サービスやCROサービスをアップデートし、今の時代だからこそ提案できる方法で「人と人」「人とサービス」をつなぎます。旧態依然とした業界を変え、新しい業界標準となるサービスを提供していきます。



▶ 人材サービス事業

理学系研究職派遣の先駆けとして、トップを走り続ける

理学系研究職派遣を中心に、工学系技術職、一般事務職の3つの分野において、登録型派遣と常用品派遣、人材紹介を行っています。特に理学系の分野に特化し、全国に営業所と研修施設を展開することで、全国どこであっても顧客には幅広い人材を、求職者には多くの求人を提供しています。

お客様には、就業前の選考・研修制度、就業後のフォロー制度について高い評価をいただいております。理学系研究職派遣で働く人の3人に1人はWDBから就業しています。理学系派遣の分野では、業界トップクラスの就業実績を誇ります。



▶ CRO事業

CRO業界の常識を超え、お客様が真に求めるサービスを追求する

医薬品・医薬部外品等の基礎研究における実験業務と、臨床試験以降の開発業務を代行・支援しています。既存のサービス概念にとらわれず低価格・高品質なサービスを提供します。お客様と一緒に課題を解決するパートナーとして、CRO業界の常識を超え、新しい価値を創造し続ける存在を目指して、日本の他にもアメリカ、フィンランドに拠点を置き、グループ会社としての利点を活かした、新たなサービス体系の構築に取り組んでいます。

※CRO(Contract Research Organization=医薬品開発業務受託機関)

2022年5月に発表いたしました中期経営計画(2027年3月期までの5年間)について、概要をご説明いたします。
 ※詳細は当社ウェブサイト「投資家情報」ページの「事業戦略・中長期経営計画」をご覧ください。

■経営方針とその内容

1. すべてのサービスをプラットフォームを通じて提供し、利便性と生産性を高めてコストを削減

当社ではここ数年、ドコニコをはじめとしたサービスのプラットフォーム化に取り組んでまいりました。プラットフォームによる業務の効率化は進んでおり、今後も引き続きコストを削減できる見通しです。

2. 派遣社員の待遇を改善し、長期持続的な成長と、事務職派遣への本格的な参入を実現

これまで当社は仕事量の多さ、充実した教育制度、定期訪問などのフォローなどにより派遣社員の支持を得ることで、トップシェアを維持してまいりました。今後はそれらに加え、他社よりも高い給与を支払う会社となることで、派遣社員とより強固な関係を作り、更なる顧客満足を実現します。また、この戦略を取ることで、事務職市場においても派遣社員からの支持を得て、事業を拡大することを目指します。

3. 人材事業は10%、CRO事業は20%の営業利益率を維持

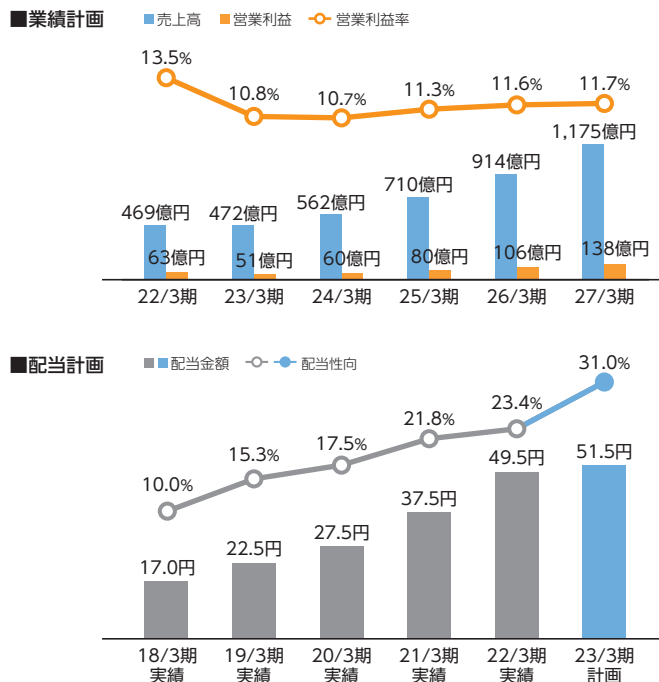
利益率は今後も重視します。先行して待遇改善を行うため、一時的に利益率は下がりますが、コストの削減を継続的に行うことで改善させ、利益額は継続して成長させていきます。

4. ROEは15%以上、配当性向は30%以上を維持

プラットフォームへの投資を続けながら、安定的な配当も継続する方針です。

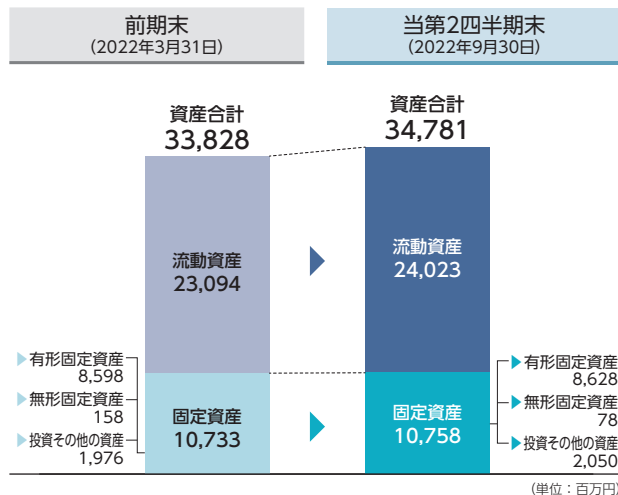
■業績計画

今期(23/3期)および来期(24/3期)までは、派遣社員の待遇改善が先行して行われるため、利益率は低下いたしますが、25/3期以降は、利益率を改善しつつ、大幅な成長を実現する計画です。

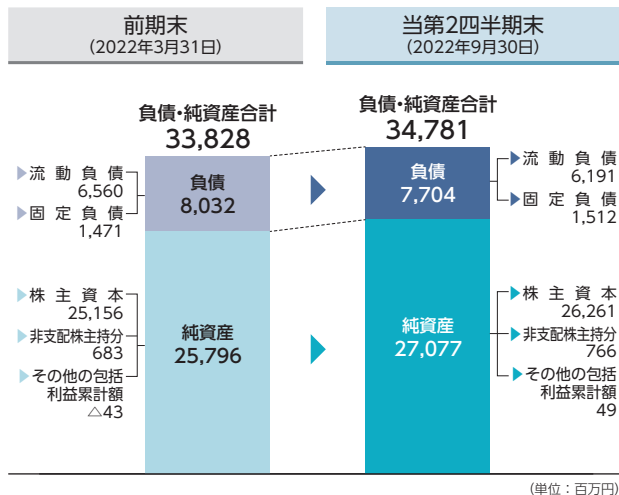


連結貸借対照表

■資産



■負債及び資本



連結損益計算書

科目	前第2四半期 (2021年4月～9月)	当第2四半期 (2022年4月～9月)
売上高	23,235	23,712
売上原価	16,929	17,636
売上総利益	6,306	6,076
販売費及び一般管理費	3,035	3,227
営業利益	3,270	2,848
営業外収益	39	45
営業外費用	4	2
経常利益	3,304	2,891
特別利益	—	—
特別損失	10	66
税金等調整前四半期純利益	3,294	2,825
法人税等合計	1,145	1,015
四半期純利益	2,148	1,809
非支配株主に帰属する四半期純利益	109	112
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,038	1,697

(単位：百万円)

連結キャッシュ・フロー計算書

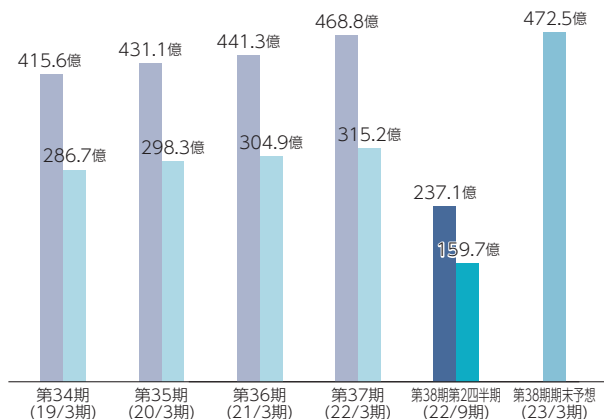
科目	前第2四半期 (2021年4月～9月)	当第2四半期 (2022年4月～9月)
営業活動による キャッシュ・フロー	1,348	1,630
投資活動による キャッシュ・フロー	△647	△207
財務活動による キャッシュ・フロー	△482	△634
現金及び現金同等物に係る 換算差額	12	39
現金及び現金同等物の増減額	230	827
現金及び現金同等物の 期首残高	19,360	16,426
現金及び現金同等物の 期末残高	19,591	17,253

(単位：百万円)

売上高

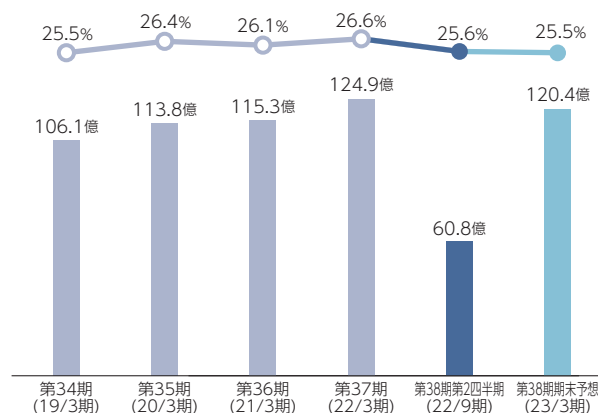
237.1 億円 / 研究職 159.7 億円

■ うち理学系研究職



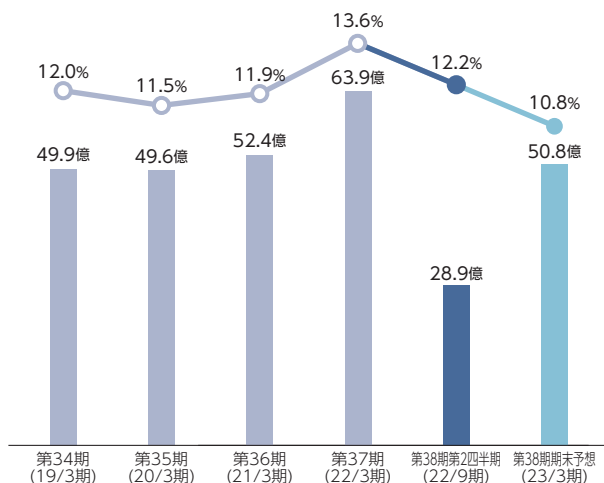
売上総利益・売上総利益率

60.8 億円 / 25.6%



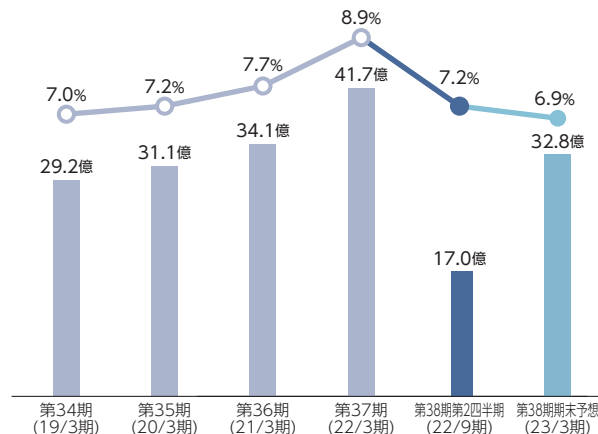
経常利益・経常利益率

28.9 億円 / 12.2%



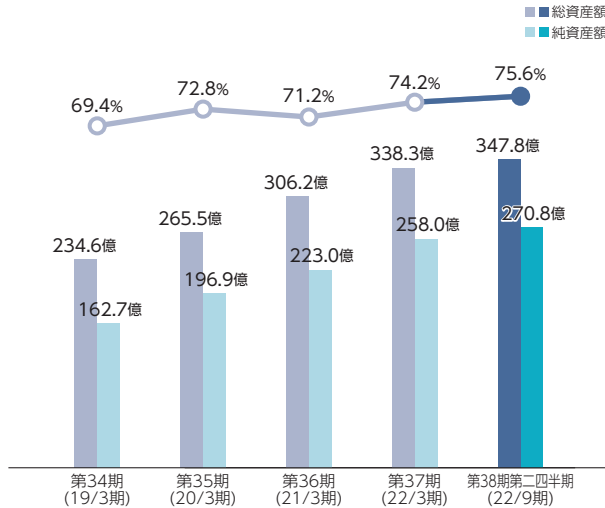
親会社株主に帰属する当期純利益・当期純利益率

17.0 億円 / 7.2%



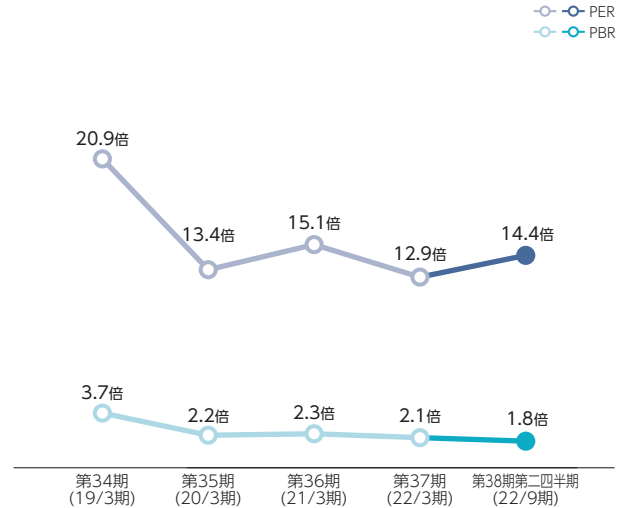
総資産額・純資産額・自己資本比率

347.8億円 / 270.8億円 / 75.6%



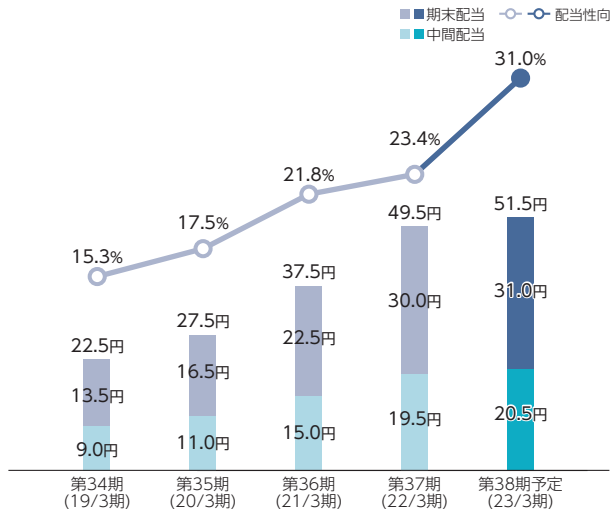
PER (株価収益率)・PBR (株価純資産倍率)

14.4倍 / 1.8倍



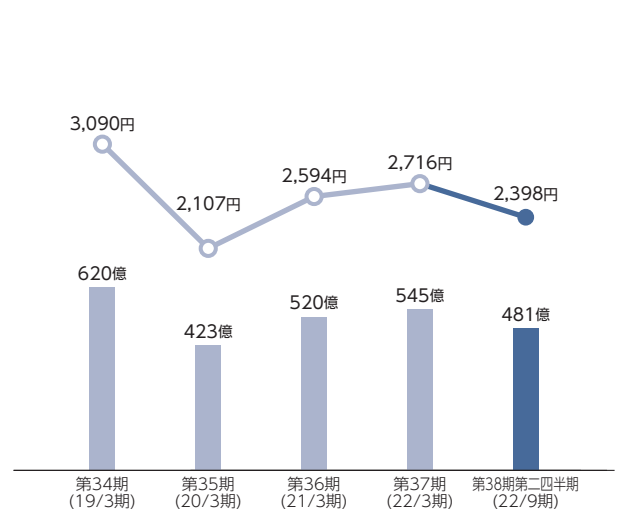
1株当たり配当額・配当性向

51.5円 / 31.0%



株式時価総額・期末株価

481億円 / 2,398円



WDBホールディングス株式会社

会社概要 (2022年11月1日現在)

社名	WDBホールディングス株式会社
設立	1985年7月6日
資本金	10億円
上場市場	東証プライム市場(証券コード 2475)
本社	〒670-0964 兵庫県姫路市豊沢町79番地 TEL 079-287-0111(代)
東京本社	〒100-0005 東京都千代田区丸の内2-3-2 郵船ビルディング2F TEL 03-5221-8111(代)
グループ会社	10社
URL	https://www.wdbhd.co.jp
社員(連結)	1,024名(派遣社員他10,223名) ※有価証券報告書上の社員数は、常用雇用派遣社員も含んだ人数となります
事業内容	持株会社として、グループ会社の経営管理 埋もれた価値を発掘し、新たな価値を創造していく会社として、プラットフォーム、人材サービス、CRO、その他の4つの分野で既存事業の運営と新規事業の発掘育成を行います

役員 (2022年11月1日現在)

代表者	代表取締役社長	中野 敏光
役員	専務取締役	大塚 美樹
	取締役	中岡 欣也
	社外取締役	黒田 清行
	社外取締役	木村 裕史
	取締役(常勤監査等委員)	鵜飼 茂一
	社外取締役(監査等委員)	濱田 聡
	社外取締役(監査等委員)	有田 知徳

グループ会社 会社概要 (2022年11月1日現在)

■プラットフォーム事業

ネゾット株式会社

WDBGの事業領域における独自プラットフォームの立ち上げ・運営・管理、新規事業の開拓

本社 〒100-0005 東京都千代田区丸の内2-3-2 郵船ビルディング2F
TEL 03-5208-1221(代)

■人材サービス事業

WDB株式会社

バイオ・化学の研究開発業務における人材派遣・人材紹介サービス

本社 〒100-0005 東京都千代田区丸の内2-3-2 郵船ビルディング2F
TEL 03-6860-7111(代)

エウレカ社 (WDB株式会社 社内カンパニー)

バイオ・化学分野に特化した研究職の正社員型人材派遣サービス

本社 〒100-0005 東京都千代田区丸の内2-3-2 郵船ビルディング2F
TEL 03-6212-8811(代)

WDB工学株式会社

工学系研究職・技術職人材の正社員型派遣サービス

本社 〒100-0005 東京都千代田区丸の内2-3-2 郵船ビルディング2F
TEL 03-5220-1161(代)

■CRO事業

WDBココ株式会社

安全性情報管理を主軸とした医薬品・医療機器の開発支援

本社 〒104-6127 東京都中央区晴海1-8-11 トリトンスクエアY棟27F
TEL 03-5144-2250(代)

WDB臨床研究株式会社

臨床研究、市販後調査等に関わるデータマネジメント・統計解析

本社 〒104-6127 東京都中央区晴海1-8-11 トリトンスクエアY棟27F
TEL 03-5144-2270(代)

株式会社コーブリッジ

薬事コンサルティング及び薬事関連資料の作成、DMAH・ICCサービス

本社 〒100-0005 東京都千代田区丸の内2-3-2 郵船ビルディング2F
TEL 03-6270-5210(代)

Medfiles Global

Oy Medfiles Ltd.

ヨーロッパにおける医薬品・医療機器・食品のための品質分析、臨床試験、薬事申請業務の支援

本 社 Volttikatu 5, FI-70700 Kuopio, Finland
TEL +358-20-7446-800

DZS Clinical Services

アメリカにおける臨床試験・データマネジメント・統計解析・安全性情報管理支援

本 社 1100 Cornwall Rd, Suite 211, Monmouth Junction, NJ, 08852
TEL +1-732-764-6970

■その他事業

WDB事業承継パートナーズ株式会社

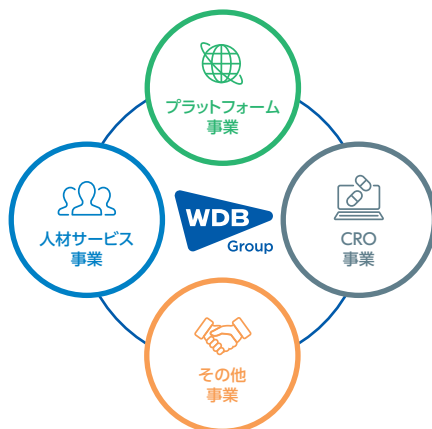
医薬・化学・食品・工学分野のM&A・事業再生支援

本 社 〒100-0005 東京都千代田区丸の内2-3-2 郵船ビルディング2F
TEL 03-3211-1511(代)

WDB独歩株式会社【障がい者雇用促進】

データ入力処理、清掃業務等を通じた障がい者雇用促進

本 社 〒670-0964 兵庫県姫路市豊沢町79番地
TEL 079-283-1771(代)



株主構成 (2022年9月30日現在)

- 発行可能株式総数／80,240,000株
- 発行済株式総数／20,060,000株
- 株主総数／2,499名

大株主(上位10名)

株主名	所有株式数(株)	持株比率
中野商店株式会社	9,659,600	48.94%
日本マスタートラスト 信託銀行株式会社(信託口)	1,516,800	7.68%
STATE STREET CLIENT OMNIBUS ACCOUNT OM02	1,176,765	5.96%
特定有価証券信託受託者 株式会社SMBC信託銀行	675,100	3.42%
中野敏光	600,000	3.04%
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	544,300	2.76%
BBH FOR FIDELITY LOW-PRICED STOCK FUND	500,238	2.53%
大塚美樹	480,000	2.43%
日本生命保険相互会社	400,000	2.03%
THE BANK OF NEWYORK 133652	341,500	1.73%
計	15,894,303	80.52%

※持株比率は自己株式(320,909株)を控除して計算しています。

株主メモ

事業年度	4月1日から翌年の3月31日まで
定時株主総会	毎年6月下旬
配当金受領株主確定日	毎年3月31日および中間配当金の支払いを行うときは9月30日
株主名簿管理人	三井住友信託銀行株式会社(東京都千代田区丸の内1丁目4番1号)
同事務取扱場所	三井住友信託銀行株式会社 証券代行部(大阪市中央区北浜4丁目5番33号)
郵便物送付先 (電話照会先)	〒168-0063 東京都杉並区和泉2丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 ☎0120-782-031 取次事務は三井住友信託銀行株式会社の本店および全国各支店
公告方法	電子公告 ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載する。
上場証券取引市場	東証プライム市場
証券コード	2475

ホームページご紹介

当社ホームページでは、最新のニュースやIR情報等当社をご理解いただくための様々な情報をご提供しています。



トップページの「投資家情報」から
当社IR情報をご覧ください



スマホからはこちら



WDBホールディングス株式会社

問合せ先/WDBホールディングス株式会社 経営企画部
〒670-0964 兵庫県姫路市豊沢町79番地
TEL 079-287-3211(直通)

■本社 / 〒670-0964 兵庫県姫路市豊沢町79番地
TEL 079-287-0111(代)

■東京本社 / 〒100-0005 東京都千代田区丸の内2-3-2 郵船ビルディング2F
TEL 03-5221-8111(代)



見やすく読みまちがえにくい
ユニバーサルデザインフォント
を採用しています。